

プレスリリース

2019年6月13日
国境なき医師団 (MSF)

南アフリカ：MSFのHIVプロジェクト 1年早く国際目標を達成

国境なき医師団 (MSF) は6月12日、南アフリカ東南部クワズル・ナタール州エシヨウエで運営する地域密着型 HIV・結核プロジェクトに関する調査結果を公表。同プロジェクトが国連合同エイズ計画 (UNAIDS) の定める HIV の流行を抑えるための目標値を、期限である2020年よりも1年早く達成したことを明らかにした。

HIV 対策の重要目標を前倒して達成

UNAIDS の定める目標とは、2020年までに、①HIV感染者の90%以上が自身の状況を把握すること、②診断を受けた感染者の90%以上が抗レトロウイルス薬 (ARV) による治療を受けること、③ARV治療を受けた感染者の90%以上でウイルス抑制すること———を指すもので、「90-90-90目標」として、HIV対策に取り組む各国の成果を表す重要な指標にもなっている。

今回の調査で、MSFのプロジェクトでは、感染者の90%が自身の状況を把握し、うち94%がARV治療を受け、さらにそのうちの95%がウイルス量を抑え込む90-94-95という成果を挙げた。この結果は、普段は保健医療が届かないHIV感染者にも、地域密着型の活動であれば医療が確実に届き、直接的な支援を拡大できるというMSFの考えを裏付けるもので、HIV対策に先手を打つための鍵となる。

「90-90-90」は達成可能

MSFの調査は、今週の南アフリカ AIDS 会議 (SA AIDS) で報告される2件の調査を含むHIV感染者に関する他の調査ともおよそ同一の見解を共有し、特定の地域で新規の感染例が減少したことを示唆する有望なデータとともに、南アフリカでの90-90-90達成は可能だということを強く根拠づけるものとなった。一方で南アフリカ全体の推計値では、85-71-86だった (人間科学調査委員会、2018年)。

MSFの医療チームリーダー、リースベト・オーラー医師は、「4人に1人がHIVを抱えている国内でも、HIV感染率の特に高い地域で90-90-90が達成可能なことを証明できました。この結果は、地元の人たちが全面的にプロジェクトに参加してくれたことを示すものでもあります。地域の市民団体、患者会、保健医療従事者、伝統的治療師、伝統的指導者、そして住民全員が、このプロジェクトの成功のために計画と支援に最初から携わってくださいました」と話す。

「重要なことは、HIV 陽性だった人のうち 94%の治療開始を実現できたことであり、男性など HIV 検査を受ける傾向が少なく、ケアにも結び付きにくい人びとが含まれていたことです」

MSF プロジェクト副コーディネーター、ムサ・ンドウロヴは、「エショウエがどうやって 90-94-95 を達成したのか。それは、団結の力によるものと言っていいでしょう。地域の伝統的な指導者の方々に全面的な協力をいただき、保健や教育の担当局とも各所で緊密に連携しました」と説明する。

「このプロジェクトの開始当初、地元の皆さんは HIV について話すなんて考えられないほどでした。今は MSF の車を引き止めて、HIV 検査について質問までくださいます。MSF が地元の人たちのために成し遂げたのではなく、地元の人たちとともに成し遂げたのです」

2013 年調査よりも改善傾向

今回の調査は MSF の疫学研究機関「エピセンター」により、15～59 歳の対象住民 3286 人に行われた。2013 年に重点活動を推し進めるために調査した場所と同じ地域での追跡調査とした。

2018 年調査では、90-90-90 目標の①HIV 感染の状況を把握する人の割合が前回と比べて 14%ポイント増、②治療を開始した人の割合が 24%ポイント増と、2013 年から大幅に増えた。

男性の間では、①HIV 感染の状況を把握する人の割合が 68%から 83%へ、②治療する人の割合が 68%から 87%へと急上昇した。そして、HIV を抱える人のうち、ウイルス抑制されていた人の割合も全体で 56%から 84%まで増加し、HIV を他の人に広げる可能性のある人の減少と、新規感染リスクの減少とが示唆されている。HIV 感染発生率に関する速報値でも、2013 年の 1.2%から、2018 年の 0.2%と、改善傾向が見られた。

しかしながら特定の年齢層には相当の課題が残っており、この調査結果だけで今後を楽観することはできない。

「15～29 歳の女性の HIV 感染発生率は 2.9%から 1.2%まで下降しているものの、それでも依然として高い数値で、思春期の少女と若年女性を脅かす持続的なリスクを示しています」と、MSF 医療コーディネーター、ラウラ・トリビーニョ医師は指摘する。

「男性への援助もやはり難しく、どのようなケアでも、総じて治療の成果が芳しくありません。HIV 感染を診断された 15～29 歳の若年男性の半数以上が、今も治療を受けていません。このように HIV に対して最も弱い立場にある集団を援助する上で、今回の調査結果が、彼らに治療を届けるための一致団結に繋がるように願っています」



MEDECINS SANS FRONTIERES
国境なき医師団


2013年にUNAIDSが設定した目標90-90-90に先立ち、2011年に始まった本プロジェクトは、新規HIV感染とHIV関連疾患・死亡例を示す曲線を下降させることが目標だった。HIV感染予防、HIV検査の拡大、住民の速やかなケアの勧奨、治療の順守・継続とウイルス抑制の支援のために、地元住民およびクワズル・ナタール州保健局と協力のもと、さまざまな活動が立ち上げられた。現在、このプロジェクトは地域にある10診療所と2病院を対象とし、2012年から2018年にかけて非専門スタッフが合計12万件の大規模な戸別検査を行うなど、地域密着型のHIV予防・検査に注力。2015～2018年には、毎年135万個のコンドームを配布している。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平

TEL：03-5286-6141 FAX：03-5286-6124 E-mail: press@tokyo.msf.org

 メディア向けツイッターアカウント：@MSFJ_Press